



Nomura Research Institute Group



2026年4月23日

各位

会社名 株式会社 野村総合研究所
 (コード:4307 東証プライム市場)
 代表者名 代表取締役 社長 柳澤 花芽

通期業績予想の修正、減損損失の計上及び 個別決算における関係会社株式評価損の計上に関するお知らせ

当社は、2026年3月期において減損損失を計上する見込みとなりました。これにより、2025年4月24日に公表した2026年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせします。また、2026年3月期の個別決算において関係会社株式評価損を計上する見込みとなりましたので、あわせてお知らせします。

記

1. 通期業績予想の修正

(1) 連結業績予想の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(単位：百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
前回公表予想 (A) (2025年4月24日公表)	810,000	150,000	151,000	104,000	181円45銭
今回修正予想 (B)	814,000	58,000	59,000	15,000	26円17銭
増減額 (B-A)	4,000	△92,000	△92,000	△89,000	
増減率 (%)	0.5	△61.3	△60.9	△85.6	
(参考) 前期実績 (2025年3月期)	764,813	134,907	134,161	93,762	163円57銭

(2) 連結業績予想修正の理由 (のれん等の減損損失の計上)

今後のNRIグループの事業計画策定に伴い、豪州のNRI Australia Limited及び北米のCore BTS, Inc.の事業計画を見直した結果、NRI Australia Limited及びCore BTS, Inc.においてのれん等の減損損失969億円を計上する見込みとなりました。これにより、営業利益、税引前利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益が前回公表予想を下回る見通しです。NRI Australia Limitedについては、コンサルティング事業やマネージドサービス事業の受注減に伴う業績悪化を踏まえ、事業計画を見直しました。Core BTS, Inc.については、クラウドコンサルティング事業の業績悪化を踏まえ、事業計画を見直しました。これらの最新の事業計画を用いて減損テストを実施した結果、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことか

ら、NRI Australia Limited 及び Core BTS, Inc.において、それぞれのれん等の減損損失 769 億円及び 199 億円を計上する見込みです。なお、NRI Australia Limited は、2026 年 3 月期に SQA Holdco Pty Ltd(Planit Test Management Solutions Pty Ltd 等の持株会社)を子会社化し経営統合しているため、これらを一体の資金生成単位として減損テストを実施しています。

2. 個別決算における関係会社株式評価損の計上

当社の豪州子会社である NRI Australia Holdings Pty Ltd の株式について評価を行った結果、実質価額が著しく低下したと認められたため、当社個別決算(日本基準)において関係会社株式評価損 488 億円を特別損失として計上する見込みです。

なお、当該損失は個別決算において計上され、連結決算においては消去されるため、連結業績への影響はありません。

以上

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提（仮定）に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、国内外の経済情勢、ITサービスの市場需要、他社との競争、税制その他諸制度の変更などがありますが、これらに限定されるものではありません。なお、新たな情報や事象が生じた場合において、当社が業績見通し等を常に見直すとは限りません。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所 IR 室長 藤岡邦明

TEL : 050-3107-1698 E-mail : ir@nri.co.jp